



電機かながわ

第99号

2012. 1. 1発行

電機連合神奈川地方協議会機関紙
〒210-0844 川崎市川崎区渡田新町3-2-8
神奈川県労働教育福祉センター内
TEL 044-333-7766 FAX 044-333-2113

発行責任者 林 克己
編集責任者 七蔵司 修



本年もよろしくお願ひします

希望



電機連合神奈川地協 議長
林 克己
(パナソニックモバイルコミュニケーションズ)

電機神奈川地協加盟労組の組合員ならびにご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。また、旧年中に賜りました地協の各種活動に対しましてご支援とご協力に感謝申し上げます。

●昨年を振り返って

この1年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災や、台風による大雨被害、日本の企業活動にも大きな影響を及ぼしたタイの洪水被害など、大規模な自然災害により、私たちの生活はもとより、社会や経済にも大きな変化と影響をもたらした1年であったと感じます。

一方、震災から時間が経過するに伴い、テレビや新聞などの報道も少なくなり、震災復興に対する意識が薄れてきているのではないかと感じているのは、私だけではないと思います。新年を迎え、私たちは今一度、被災地に対する支援の思いを新たにすることが必要だと感じております。

また、昨年10月末に発表された電機大手の中間決算では、家電を主力としたメーカーの業績下方修正が行われました。とりわけ、日本の家電における主力事業であったテレビ事業が、大きな岐路を迎えており、今後の日本における電機産業としてのあり方を問う位置づけであったと感じます。

神奈川地協は、昨年の新春のつどいにて、環境変化への対応だけでなく、自ら高い目標を掲げ、最後までやり遂げる・見事にやっけてのけるという意味合いである「成し遂げる」という思いを志とし、この1年の役割と責任を果たすことを発信させて頂きました。

そして、4月の統一地方選挙ならびに8月の秦野市議会選挙においては、震災の影響を受けながらも、組織内議員の必勝を「成し遂げる」ことが出来ました。しかしながら、東日本大震災からの復興は、未だ道半ばであり、私たちは、何としても、震災からの復興を「成し遂げる」必要があります。

●2012年の抱負・決意について

昨年の東日本大震災で、私たちは、改めて「人と人のつながり・絆」の大切さ、「自分たちが住む街や暮らし」の有りがたさ、そして国を超えて「助け合う・思いやる」気持ちの尊さなどを感じました。そして、このことが、被災地の方々に「希望」を与えたことを忘れてはいけないと感じます。

「希望」とは、辞書を引くと、「あることの実現をのぞみ願うこと」また、「将来に対する期待」「明るい見通し」とあります。

ちなみに、「期待」とは辞書を引くと、「あることが実現するだろうと望みをかけて待ち受けること」または「当てにして心待ちにすること」とあり、その位置づけは違いますが。

東日本大震災からの復興には、「希望」が不可欠であると考えます。また、私たちをとりまく社会や政治においても、将来に対する不安や心配が先行しており、「希望」が持てる社会・政治をつくり上げていくことが必要です。

そして、そのためには、私たち一人ひとりの存在や、思い・行動そのものが「希望」となることが必要であると思ひます。

神奈川地協は、今年地協設立60周年・障がい福祉運動40周年の節目を迎えます。そして、この節目を、新たな「希望」をもたらす位置づけにしたいと思っております。

この1年、神奈川地協として、「希望」という思い・志を掲げ、引き続き、労働運動の発展ならびに、産別地域組織としての役割発揮に向け取り組みを進めてまいります。

組合員ならびにご家族の皆様のご健勝・ご多幸さらには各労組のご発展を祈念申し上げ、新春のご挨拶と致します。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

電機連合神奈川地協 役員一同

本年もよろしく願いたします。



副議長



徳田 政昭
(日立ソフト)

副議長



宮本 了一
(東芝M/C)

副議長



山本 覚
(日電中研・神奈川)

副議長



岡元 茂樹
(富士通R&D)

事務局長次長



小野久一男
(富士通R&D)
専従

常任幹事



水橋 浩
(東芝横浜)

常任幹事



七蔵司 修
(日立神奈川)

常任幹事



館 克則
(東芝小向)

常任幹事



佐藤 信也
(日立横浜)

常任幹事



高橋 洋
(三菱情報システム)

常任幹事



福澤 邦治
(パナソニックオート
モーティブシステムズ)

常任幹事



小高 大
(ニュークリア・フ
ユエル・ユニオン)

常任幹事



森川 靖之
(富士通セネラル川崎)

常任幹事



北原 武
(アンリツ)

常任幹事



熊倉 幸博
(パナソニックエナ
ジー茅ヶ崎)

常任幹事



吉川 哲之
(富士電機川崎)

常任幹事



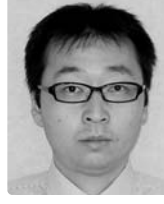
笹原 豊
(三菱相模)

常任幹事



幸山 隆
(オムロンレーザ
フロント)

常任幹事



戸澤 孝平
(日立GST)

常任幹事



村下 順義
(東芝京浜)

常任幹事



中島 裕之
(バイオニア川崎)

会計監査



村山 賢
(NECインフロン
ティア)

会計監査



岩田 裕英
(日本アビオニクス)

特別常任幹事



石原 康則
(三菱情報システム)

特別常任幹事



永田 伸和
(アンリツ)

特別常任幹事



廣田 政巳
(日立神奈川)

特別常任幹事



実野 輝男
(パナソニックAVC
ネットワークス藤沢)

特別常任幹事



橋本 弘
(日電中研・神奈川)

組織内議員



今野 典人
横浜市会 (緑区)
(パナソニックモバイル
コミュニケーションズ)



坂本 勝司
横浜市会 (戸塚区)
(日立戸塚)



東 正則
川崎市議会 (中原区)
(富士通R&D)



森 繁之
相模原市議会 (中央区)
(日電中研・神奈川)



山本 文夫
横須賀市議会
(東芝ライテック横須賀)



山田 直人
鎌倉市議会
(三菱鎌倉)



八尋 伸二
秦野市議会
(日立神奈川)



電機連合
中央執行委員長
有野 正治

新年明けましておめでとうございます。本年が、ご家族を含めた組合員の皆さんにとって幸多い年となることを心からお祈り申し上げます。

昨年1年を振り返ってみると、まず何と言っても東日本大震災への対応があげられます。国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した大震災から早いもので10カ月近くが経過しましたが、被災地の復興・再生はまだ始まったばかりです。福島原発事故への対応は原子炉の冷温停止にたどったのはついたものの、避難された方々の補償や帰宅問題、そして放射能汚染への対応などは、まだまだ先が見えない状態が続いています。

いずれにしても、国民と国が一丸となって、早期復興・再生に全力で取り組むことが求められます。また、原発事故によって生じた電力不足を機に、これからのエネルギーをどうするかが重要な課題となりましたが、電機連合としてエネルギー政策を約1年かけて見直すこととしました。

国内の経済を見ると、前半は東日本大震災の影響が大きく影響しましたが、復興需要などから何とか持ち直しが見られます。しかし、1ドル70円台という超円高、タイの洪水、欧州の通貨危機への不安などから、物価の上昇よりもデフレが続くと見られます。政治状況は、いわゆる「衆参ねじれ」の中で、震災からの復興・再生を図るための補正予算関係は何とか成立しているものの、そのほかの重要課題は思うように進まない状況が続いています。「税と社会保障の一体改革」や「TPPへの対応」など、国の先行きを左右する重要課題が山積している中で、与野党を超えた対応が強く求められます。

一方、電機産業は厳しい経済情勢や大震災の影響を受けるとともに、グローバル競争がさらに強まったことなどから、2011年度の企業業績見通しは全体的に厳しくなっています。とくに、これまで電機産業成長のけん引役の一つであった、テレビなどのデジタル家電分野が収益の足かせになってきており、新たな成長分野への転換が求められているのが実態です。

このような情勢の中、電機連合として組合員の皆様のご支援をいただきながら、それぞれの課題に全力で取り組み、一定の成果が出せたと考えています。

さて、迎える本年は取り巻く情勢から考えると、非常に厳しい年となることは間違いありませんが、3つの課題を

中心に運動を強化していきたいと考えます。第1点は、継続して東日本大震災からの復興・再生（原発事故の終息を含む）に全力を挙げて取り組むことです。私たち電機連合が直接復興・再生に関わるといふことより、その環境作りによってそれぞれの立場で全力を尽くすということです。たとえば、復興再生を図るにはそれぞれの産業が元気であればなりません。産業全体の成長を図るためにも、電機産業としての成長戦略を描きながら、政策として国や各府県に要請し、経営側にもその思いを伝えるとともに、成長戦略について意見交換していきたいと考えます。また、この課題で一番重要なことは「政治がしっかりする」こと、すなわち日本がしっかりすることです。2012年度予算や、税と社会保障の一体改革等、財政安定化のための様々な施策、TPPを含む外交など、いずれも喫緊の課題であり、安定した政治を求めて力を尽くしていきたいと考えます。

第2点が2012年春闘の取り組みです。長期デフレで日本経済は疲弊しており、デフレからの脱却は至上命題です。そのために全労働者の労働条件の「底上げ、底支え」が重要な課題です。電機連合は2011年闘争でも同じ思いで取り組みましたが、2012年闘争はさらに取り組み強化を図る必要があります。また、今年は労働協約改定年度でもあることから、年金の支給開始年齢が段階的に引き上げられる2013年問題への対応も重要な課題となります。また、2011年春闘からの継続課題としている「これからの電機産業を支える人への投資」に関し、引き続き経営側と論議していきます。

第3点が、組織強化です。昨年設立した中堅・中小労組協議会の更なる充実や、組織拡大、財政の安定化、各単組・地協との縦と横の連携など、組織強化に向けた様々な取り組みが求められています。これらの課題は、今後の電機連合の運動強化に欠かせない取り組みであり、一丸となって取り組みを進めていきます。

また、2013年の参議院選挙へ向け、組織内候補を擁立して全力で取り組むこととなりますが、当選させるにはこの1年の取り組みがカギを握ります。昨年大阪W選挙に表れているように、既成政党への逆風がさらに強くなり、組織選挙が難しくなっている面もありますが、私たちが候補を擁立するのは、電機産業発展のため、「政策を実現する」ためにあることを皆さんで再認識したいと思います。

今年は2年間の運動を仕上げる年でもあります、それぞれの課題に成果を出せるよう、しっかり取り組んでいきますので組合員の皆さんの御支援と御指導をお願いします。組合員ならびにご家族の皆さんのご健勝、ご繁栄を祈念し、年頭の挨拶にさせていただきます。



参議院議員
加藤 敏幸

新年を迎え、2012年が電機連合の皆様にとって、安らかな年となるよう、お祈り申し上げます。

本年は、東日本大震災・原発事故による被災者・避難者の生活環境と仕事が完全に取り戻されるよう、政府・自治体が一体となり、全力を尽くさなければなりません。現在、「第3次補正予算」にもとづき復興施策が進められていますが、併せて、地震・津波・集中豪雨など災害大国の我が国において、国民の生命と財産を守るための施策も推進していく必要

があります。

昨年11月に来日されたブータンのワンチュク国王は、国会演説の中で、「他の国であれば国家を打ち砕き、無秩序、大混乱、そして悲嘆をもたらしたであろう事態に、日本国民の皆様は最悪の状況下でさえ静かな尊厳、自信、規律、心の強さを持って対処されました。文化、伝統および価値にしっかりと根付いたこのような卓越した資質の組み合わせは、我々の現代の世界で見出すことはほぼ不可能です。そうした力を備えた日本には、非常に素晴らしい未来が待っていることでしょう」と大きな望みを語られました。

ブータン国王の励ましにも支えられながら、我が国の復興と再起に向け、皆様とともに頑張っていきたいと思えます。

一方で大震災は、我が国の「ものづくり産業」の弱点も明らかにしました。その1つは、部材・部品にかかわるサプライチェーンの脆弱性です。今後は、部品調達の分散化・共有化などによって、より強固なものへと再編していく必要があります。もう1つは、物流にかかわる道路・鉄道・港湾・空港、そして燃料や電力の供給体制といった産業インフラの問題です。限られた公共事業予算を有効に活用しながら、自然災害に強く、また我が国の製造業の国際競争力の強化に資するものへと再構築していかなければなりません。

民主党政権も早3年目に入っています。この間、党内の政治的混乱や、大震災・原発事故や国際的な経済危機への対応について、民主党政権に対する国民の目は一段と厳しくなっています。民主党政権と党として、すでに3度の本予算（案）を編成し、マニフェストも段階的に実行しつつありますが、今年は、必要とされる政策を着実に実行していくとともに、政権基盤の強化と党組織の統合強化もはかっていかなければなりません。本年も引き続きまして、電機連合の皆様のご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

第23回参議院議員選挙 候補者(予定)について

2013年7月に予定される「第23回参議院議員選挙」に「石上俊雄」氏が電機連合組織内公認候補として出馬予定です。

正式には、2012年1月26・27日の電機連合第98回中央委員会で決定します。

電機連合神奈川地協としても、組織の総力を挙げて取り組みを行います。皆様方のご協力をお願いいたします。

プロフィール

- 1962年1月生
- 1980年 新潟県立柏崎工業高等学校卒
- 1980年 株式会社東芝入社
- 2002年 東芝労働組合MC支部 執行委員長
- 2010年 東芝グループ連合 副会長
- 2012年 現職
- 〈その他〉
- 2002年 電機連合神奈川地協 常任幹事、障がい福祉委員会 副委員長
- 2003年 連合神奈川 川崎地域連合 議長



い し が み と し お
石上俊雄
東芝グループ連合出身
(民主党・比例代表で立候補を予定)

ティッシュペーパーカンパへのご協力に感謝申し上げます。カンパ金はこのような「障がい福祉活動」に役立てています!

ふれ愛の旅



組合員がボランティアとなり、障がいを持つ方々と一緒に旅行に行くことで交流をはかり、お互いの理解を深めます。

障がい者の雇用促進

電機神奈川福祉センターと連携を取りながら、障がい者の就労相談や、企業の障がい者雇用へ向けた支援を行っています。

みかん狩り

障がい者団体や親の会などの団体をみかん狩りにご招待し楽しいひと時を過ごしていただいています。

福祉を知る・学ぶ



【一日ボランティア体験講座】

電機神奈川福祉センターでの障がい者・高齢者介護の基礎体験講座

【出張ボランティア体験講座】

相談員が直接訪問し、目的・講座内容を絞り短時間で行う集中講座

【手話入門講座】

講師2名を招き、手話の基本的な会話手法を学ぶ講座

【認知症サポーター養成講座】

福祉センターから講師を招き、悩みの多い認知症の理解を深める講座

興味や気になる方は、各組合事務所へお問い合わせください

福祉に関する相談活動

- ◆障がい者の雇用・働く障がい者に関すること
- ◆障がいを持つご家族に関すること
- ◆高齢者介護や介護保険に関すること など

福祉相談員が直接お伺いする「顔の見える」相談に積極的に取り組んでいます!



福祉相談員
茂泉 純一



今年のデザインは
富士通労組R&D支部の
佐藤勝江さんの作品です



電機連合神奈川地協 障がい福祉委員会 (福祉相談員)

川崎市川崎区渡田新町3-2-8 TEL: 044-333-7766 FAX: 044-333-2113
E-mail: fukushi@jeiu.or.jp HP: www.jeiu-kanagawa.or.jp

電機連合福祉共済センター

設立25周年に向けて、さらに魅力ある制度へ!!

ねんきん共済

～自助努力のお手伝い～

けんこう共済

～幅広く手厚い補償～

けんこう共済アシスト

～新制度でスタート～

加入募集中!

詳しくは、労働組合までお問い合わせください。